

普及現地情報



発信年月日：令和3年(2021年)12月21日
所属名：甲賀農産普及課
番号：C21028
部門分類：130(工芸・特用作物)
発信者名：竹若、近藤知

令和3年度有機栽培茶求評会が開催される

12月15日、農業技術振興センター茶業指導所において、(一社)滋賀県茶業会議所主催の有機栽培茶求評会(以下「求評会」)が開催されました。当課は、求評会の運営等を支援しました。

近年、海外輸出を含む有機栽培茶の需要が拡大する中、甲賀市内では、18戸の茶農家が有機栽培茶の生産を志向されています。当求評会は、栽培農家が持ち寄った一番茶サンプルをお互いに評価しあうことで、有機栽培茶の品質向上とともに販売戦略の立案等を目指して開催されているものです。

当日は15名の農家をはじめ、28名の関係者の出席がありました。当課から近赤外線分析の結果概要を説明した後、(株)キューサイ分析研究所の肥田氏から、「味分析の概要と活用について」と題して、講演がありました。講演では、今回実施した味分析の結果の見方や香り分析との組合せによる産地の特色把握の可能性について解説があり、今後の販売戦略の検討などブランド化にも分析結果が活用できるとの興味深いお話をいただきました。参加者から「朝宮の茶は秋に熟成して良くなるといわれているが、そういった分析もできるのか？」等、熱心に質問が出され、その後行われた求評会で、さっそく分析結果を活用して味を比較する場面が見られるなど、非常に有意義な求評会となりました。

当課は、今後も関係機関と連携し、有機栽培茶の品質向上やブランド化に向けた取組を支援します。



キューサイ肥田氏の講演の様子



サンプル茶の内質審査の様子